

地域資源利活用農業農村開発基礎調査費（継続）

1. 趣 旨

- (1) 国連ミレニアム開発目標では、極度の貧困と飢餓の撲滅・持続可能な環境作り等の目標が採択され、開発による貧困の削減と開発と環境の調和が、国際社会における重要課題として注目されている。
- (2) これらの問題を解決するためには、持続可能な開発を進めることが不可欠であり、地域の土地、水資源や草木等の再生能力や負荷能力に見合った開発を実施する必要がある。そのなかで、これらの資源の量・質に応じた、さらには家畜や人由来のふん尿や残さ等の資源をも組み合わせた技術を確立することは非常に有効である。
- (3) しかしながら、これらの資源の再生能力や負荷能力という観点からの地域資源の状況の調査やそれらの地域資源を利活用した農業農村の状況に見合った技術の検討は十分にはなされていない。
- (4) このため、本調査では、農業農村状況、地域資源の状況、地域資源を利活用した既存の技術の評価、新技術の開発の検討、種々の技術の発展の可能性・汎用化の検討等に係る基礎的な調査を実施する。

2. 事業内容

- (1) 農業農村状況調査
- (2) 地域資源状況調査
- (3) 地域資源利活用技術検討調査

3. 交 付 先 独立行政法人 緑資源機構

4. 補 助 率 定 額

5. 平成18年度概算決定額 25,312 (25,312) 千円

【担当課(室)：設計課海外土地改良技術室】